

山万ユーカリが丘線 安全報告書

【2020年】



 **山万株式会社**

2020年 山万ユーカリが丘線 安全報告書

1. 2020年 山万ユーカリが丘線安全報告書発行にあたり

日頃「山万ユーカリが丘線」をご利用いただきありがとうございます。又、「山万ユーカリが丘線」の運営に際し、ご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づく「山万ユーカリが丘線」の2020年の輸送の安全確保に関する取組みをまとめたものです。

さて、2020年山万ユーカリが丘線におきましては、第1編成の全般検査やその他各種工事等を施工し、安全輸送設備等に係る整備を進めました。

又、11月7日より、ユーカリが丘ニュータウンの中で、ユーカリが丘線がカバー出来ない地域を運行する列車補完路線バスを開設し、新たに路線バス事業を開始致しました。

今後も山万ユーカリが丘線は、皆様のお傍にあって利用しやすい鉄道を目指してまいりますとともに安心・安全を基本コンセプトとして「誰からも愛されるユーカリが丘線を目指して」をスローガンとして推進してまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づく「山万ユーカリが丘線」の2020年の輸送の安全確保に関する取組みをまとめたものであり、皆様に広く「山万ユーカリが丘線」の安全に対する取組みをご理解いただきたいと存じます。

又、皆様からのご意見・ご要望等につきましては今後の「山万ユーカリが丘線」の安全への取組みに役立たせてまいります。

今後とも「山万ユーカリが丘線」へのご理解・ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

2021年 6月27日
山 万 株 式 会 社
代表取締役 嶋田 哲夫

2. 安全に関する基本方針と目標

ユーカリが丘ニュータウンは、今日に至るまで快適環境の創造を目指し、常に新しい試みにチャレンジする姿勢をもって街づくりに取り組んでおります。

「山万ユーカリが丘線」は、ユーカリが丘ニュータウンに欠くことのできない公共交通機関として広く皆様にご利用いただき、日々、安全、快適かつ正確な輸送を推進すべく努力致しております。

安全の確保はご利用の皆様への最大のサービスであるにとらえ、そのための努力を惜しむことなくお客様の立場に立ったサービスの提供とその向上に今後とも社員一同努めてまいり所存でございます。

(1) 安全に関する基本方針

当線では安全管理規程を平成18年10月制定し、当線の安全管理規程において「安全に関する基本方針」は安全第一をもって事業活動を行う体制の整備に努めております。

輸送の安全水準の維持及び向上を図るものとしての安全に係る行動規範は以下のとおりです。

- ①協力一致して輸送の安全確保に努めること。
- ②輸送の安全確保に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを順守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めること。
- ④職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努めるとともに、疑義のある時には最も安全と思われる取り扱いをすること。
- ⑤事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥情報の漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

(2) 安全に関する目標

2020年、当線における安全に係わる目標は以下のとおりです。

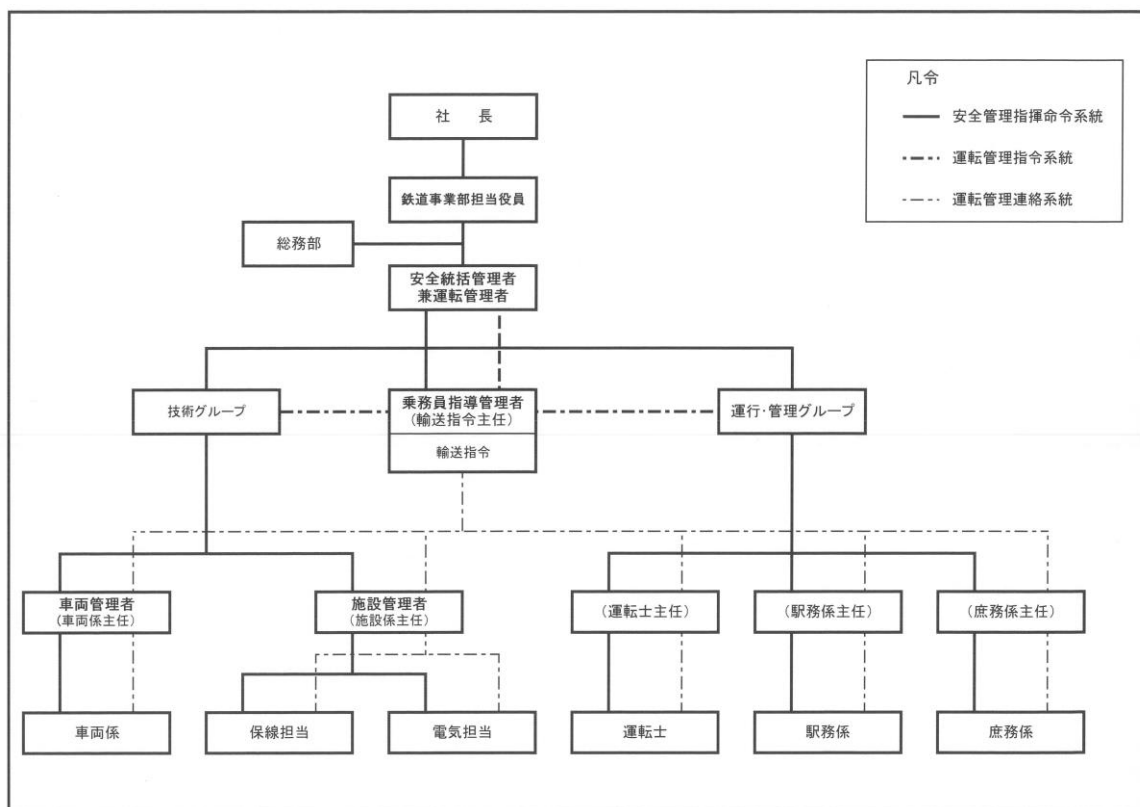
- ①運転事故ゼロを継続する。
- ②輸送障害ゼロを目指す。
- ③ヒューマンエラーによるインシデントゼロを目指す。

2020年における、運転事故についてはゼロであり、無事故を継続しております。

輸送障害においては7件（うち沿線火災1件、風害1件、電気装置2件、走行装置1件、車両等1件、その他1件）発生しており、列車はあわせて計260本を運休しております。

今後も引続き運転事故ゼロの継続及びインシデント発生ゼロを目指し、全社一丸として取り組んでまいります。

3. 安全管理体制



山万ユーカリが丘線 安全管理体制図

「山万ユーカリが丘線では、上記に示す安全管理体制を構築しております。安全統括管理者のもと鉄道の定例会議【鉄道全体会議】等において安全管理体制が適切に管理・運営がなされていることの確認をしております。又、その結果を踏まえて安全管理体制の見直し・改善を実施することとして安全管理体制の維持・向上に努め、安全の確保に取り組んでおります。

4. 安全管理体制に係る各管理者の役割

「山万ユーカリが丘線」の安全管理体制は、経営トップである社長をトップとして鉄道事業部担当役員【安全統括管理者兼運転管理者】及び鉄道事業乗務員指導管理者、施設管理者及び車両管理者等をもって「山万ユーカリが丘線安全管理体制」を構築しております。各管理者の役割については以下に記載のとおりです。

管 理 者	役 割
社 長	輸送の安全確保に関する最終的な責任を有する。
安全統括管理者	輸送の安全確保に関する業務を統括する。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、動力車操縦者の資質保持に関する事項を管理する。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を管理する。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を管理する。

5. 2020年 運転事故、輸送障害及びインシデントに関する報告

2020年における運転事故、輸送障害及びインシデントについては以下のとおりです。

種 別	件数	備 考
運転事故	0 件	—
輸送障害	7 件	4月9・10日 f－5火災等 4月13日 g－2風害 5月24日 b－5電気装置 9月28日 f－8その他 10月7日 b－7運転保安装置 10月15日 b－5電気装置 11月30日 b－1走行装置
インシデント	0 件	—

(1) 運転事故

運転事故の発生はありません。

(2) 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

輸送障害：7件

【詳細：1 火災等】

4月9日（木）18：30頃、1k990m 付近沿線にて火災が発生。消火作業及び現場検証実施の為、運転見合わせとなりました。原因として集電器部分より発生した火花が軌道脇の枯れ草に引火したものと考えられます。対策として、正電車線交換作業及び防炎シートの敷設を実施しました。

【詳細：2 風害】

4月13日（月）強風により公園駅に設置されている風速計が基準値を超えた為、15時21分ユーカリが丘駅発より、16時56分ユーカリが丘駅着まで列車の運転の見合わせと遅れが発生しました。

【詳細：3 電気装置】

5月24日（日）ユーカリが丘駅6時00分発車時に力行を入れた所、加速が著しく悪く電流計の確認を行ったところ200A程度までしか上昇していない為、公園駅で運行打ち切り車両交換を実施した為に運転見合わせとなりました。

【詳細：4 その他】

9月28日（月）10時12分頃、千葉県内で発生した大規模停電の影響により、東京電力から受電停止による停電が発生したため運転見合わせとなりました。

【詳細：5 運転保安装置】

10月7日（水）5時00分頃、自動列車停止装置の誤動作が発生したため運転見合わせとなりました。
原因として、車両の自動列車停止装置内部の基板が不具合を起こした為と推定されます。

【詳細：6 電気装置】

10月15日（木）18時32分頃、公園駅発車時に力行を入れた所、加速が著しく悪く、電流計により800Aの異常電流が流れている事を確認。第110列車地区センター駅で運転を打ち切り。予備編成についても定期検査中の為に本線での運用が出来なかった為、15・16日の朝夕ラッシュ時の列車の一部が運転見合わせとなりました。
原因として、車両の主回路制御基板が不具合を起こしたためと推定されます。

【詳細：7 走行装置】

11月29日（日）19時00分頃に発生したタイヤパンクの影響により、ユーカリが丘駅到着後車両交換を実施。予備編成についても定期検査中の為に本線での運用が出来ず、翌朝ラッシュ時に使用する車両の手配ができなくなってしまった為、30日朝ラッシュ時の列車の一部が運転見合わせとなりました。
原因として、使用しているタイヤのエアバルブが劣化した為と推定されます。

（3）インシデント（事故につながる兆候）

インシデントの発生はありません。

6. 2020年 主な安全施策の報告

2020年における主な安全施策につきましては以下に示すとおりです。

- ① 施設施設（土木関係）の整備
 - ア. 橋脚耐震対策事業
 - イ. 運転保安設備の定期検査
 - ウ. 保安防具定期検査
- ② 施設（電気関係）の整備
 - ア. 正電車線交換整備及び点検強化（金属疲労等）
 - イ. 変電所設備更新工事
 - ウ. 信号保安設備更新
 - エ. き電変電所の定期検査
- ③ 車両の整備
 - ア. 台車関係整備
 - イ. 空制関係整備
 - ウ. 走行輪関係整備
 - エ. 空気バネ関係整備
 - オ. 案内輪関係整備（案内輪交換含む）

7. 2021年 主な安全施策の計画

2021年における主な安全施策については以下のとおり計画しております。

- | | |
|-----------|--------------------------|
| ①車両定期検査整備 | ア. 台車関係整備 |
| | イ. 空制関係整備 |
| | ウ. 走行輪関係整備 |
| | エ. 空気バネ関係整備 |
| | オ. 案内輪関係整備（案内輪交換含む） |
| ②電路設備補修整備 | ア. 正電車線交換整備及び点検強化（金属疲労等） |
| | イ. 変電所設備更新工事 |
| ③各種検査施工 | ア. 橋脚耐震対策事業 |
| | イ. 運転保安設備の定期検査 |
| | ウ. 保安防具定期検査 |

8. 安全輸送を確保するための取組状況

(1) 安全を確保するための研修等

安全を確保するため当線全職員を対象にした安全に係る規程類の再教育研修を実施する。

ア. 新型インフルエンザに係る事業継続計画

イ. 異常時訓練資料の見直しによる再教育等の再教育を実施・計画する。

(2) 教育訓練

内部研修：

ア. 冬季における雪害等に係る机上・実車訓練

イ. 駅務機器取扱講習

ウ. 接客マナー講習

エ. 異常時取扱訓練（8月）

等を定期的又は臨時的に開催しております。

外部研修：

ア. 普通救命講習（7月）

イ. 特殊鉄道に係る協議会（12月）

今後につきましても、車両故障、運転事故、輸送障害等によりご利用の皆様方にご迷惑をお掛けすることのないよう安全教育を含め各種教育等の充実を図ってまいります。本年度はコロナ禍の影響により外部研修等を行う事が出来ませんでした。社内研修を充実させる事により、車両故障、運転事故、輸送障害等によりご利用の皆様方にご迷惑をお掛けすることのないよう安全教育を含め各種教育等の充実を図ってまいります。

(3) 異常時訓練（8月実施）

列車による運転事故等を想定した各係合同による訓練（異常時訓練）を8月11日（火）当線女子大駅隣接の車両基地構内等において実施しました。

当日は、鉄道事業部担当専務取締役による訓練に対する訓示より開始し、安全統括管理者が見守る中、訓練が実施されました。

訓練風景



訓練打ち合わせ



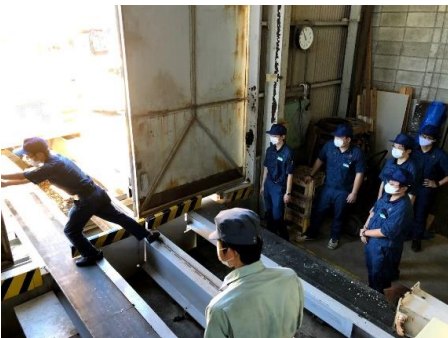
現車訓練（野外）



現車訓練（車庫建屋内より出庫1）



現車訓練（車庫建屋内より出庫2）



現車訓練（車庫建屋内より出庫2）



転轍機転換訓練



消火訓練



終礼

(4) 安全巡視の実施状況

春・秋の交通安全運動及び夏季輸送、年末年始の安全総点検等の各種安全運動において、沿線の各自治会、幼稚園、保育園、小・中学校並びに養護施設等に当該安全運動に係る協力依頼を行い、輸送の安全確保に努めております。又、当線の各職場の巡視を実施し、各職場における安全管理状況の確認を行い、各職場における安全の確保の向上に努めております。

安全運動名称		実施期間
令和2年	春の全国交通安全運動	4月6日(月)～4月15日(水)
令和2年	夏季の輸送安全総点検	7月20日(月)～7月31日(金)
令和2年	秋の全国交通安全運動	9月21日(月)～9月30日(水)
令和2年度	年末年始の安全総点検	12月10日(木)～1月10日(日)



春の宣告交通安全運動掲示（駅）



秋の全国交通安全運動掲示（車内）

9. 安全管理の方法

ア. 安全を確保するための会議【鉄道事業部全体会議】

安全統括管理者【鉄道事業部担当役員】を委員長とし、毎月第三木曜日を基本として鉄道事業部全体会議を開催しております。この会議において当線における事故、故障、輸送障害、及びインシデント等の状況を確認しております。又、他社様の報告等に基づく事例を参考として当線における再発防止策に反映させ、当線の安全の確保の向上に努めております。

イ. 事故発生時における緊急体制

「山万ユーカリが丘線」は「佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部」との間において平成19年9月、「鉄道災害時における消防機関と鉄道事業者との連携に関する協定書」を締結しております。

この協定書は鉄道事故並びに地震等の自然災害等に備え、緊急時における当線との連携について締結したものであり、この協定書の締結により緊急時における体制がより一層強化されております。

又、当社及び当社関連会社を含めた緊急時における「山万グループ災害対策本部」の設置体制を構築しております。災害等における緊急時においては、山万グループ全社をあげて「山万ユーカリが丘線」及びユーカリが丘ニュータウン災害時の体制強化を順次進めております。

10. 運輸安全マネジメント評価に係る内部監査の実施

運輸安全マネジメント評価に係る内部監査につきまして、本年は実施しておりません。

11. バスの運行について

社会化実験コミュニティバス「ここらら1号」バスの無料運行は9月30日。「ここらら2号」バスの無料運行は10月31日をもって終了し、ユーカリが丘地区において、ユーカリが丘線では交通の利便性を確保できない地域をカバーする事を目的に、新たに11月7日より路線バス事業（山万ユーカリが丘線列車補完路線バス・愛称：こあらバス）を開始しました。

新たに中型車（レインボー）を使用し、イオンタウンユーカリが丘及びユーカリが丘線外周部、西ユーカリが丘方面をカバーする1～3系統。小型車（ポンチョ）を使用し、住宅街の中でも高齢者の方が多く、駅から離れた地域をカバーして運行する101～103系統の6路線を設定し、地域住民の方々の通院、買物の足としてご利用頂く事を主な目的としています。

12. ご利用の皆様へのお願い

「山万ユーカリが丘線」のご利用に際し駆け込み乗車等の危険な行為の防止啓蒙につきましては、各種安全運動期間中における駅掲示ポスター、案内放送並びに車内放送等におきまして機会のあるごとにご理解とご協力をお願い致しております。

今後とも列車の安全運行にご協力をお願い致します。

お問い合わせ等

「山万ユーカリが丘線」は地方鉄道業会計規則の例外取扱い許可を受け、事業年度の始期を1月1日としております。

このため、安全報告書の対象期間も2020年1月1日から2020年12月31日までを対象期間として作成しております。

尚、この安全報告書並びに「山万ユーカリが丘線」の安全への取組等に関しますご意見等につきましては下記までお願い致します。

山万株式会社 鉄道事業部

住 所：千葉県佐倉市ユーカリが丘6-5-5

山万ユーカリが丘線公園駅 駅務本部

T E L：043-487-5036 9時から17時

F A X：043-487-8134

E-mail：rail@yamaman.co.jp

未来の見える街
ユーカリが丘



山万株式会社